

2017年度第8回研修委員会議事録

日 時：12月18日(月) 14:30 ～ 16:30

場 所：玉川大学 大学教育棟 2014 3階会議室

出席者：研修委員 6名

欠席者：委員長

議 長：副委員長

配付資料：

資料 1_2017年度研修会参加者アンケート集計結果

資料 2_2017年度研修会研修実施報告書（担当講師）

資料 3_2017 東地区研究部収支簿（研修委員会用）

議 題：

1. 2017年度研修会の反省について

①参加者アンケートをもとに

配付資料1をもとに反省点について討議した。下記のような意見があった。

- ・ワークショップの内容が、民間企業向けという意見もあったが、図書館という枠組みを越えた気付きもあったのではないか。
- ・図書館サービスの現状を反映し、クレーム対応の需要が感じられた。
- ・クレーム対応を考える上で前提となる図書館サービスについて、研修会委託会社と事前に打合せする必要があるがあった。
- ・多くの参加者のクレーム事例を共有したかったという意見もあったが、2日間という研修期間内では、十分に共有できたのではないか。
- ・運営側の補助を求める意見もあったことから、担当講師と事前の打ち合わせが必要だった。
- ・研修会2日目の終了時刻が予定の17時を過ぎてしまったため、参加者に不自由をかけてしまった。担当講師は、飛行機や新幹線を利用して遠方から来ている参加者がいることを知らなかった。
- ・「研修会で取り上げてほしいテーマ、講師、ワークショップについてお聞かせください」等の記述式の回答に空欄が目立ったので、アンケート記入の時間も不足していたのではないか。
- ・アンケートの4段階評価は、「普通」の評価分布がない分、明瞭で良かった。
- ・会場の設営は、横長の方が良かったという意見があったが、グループワーク等は話し方研究所の意見を取り入れたものだった。広さや構造上、仕方がなかった部分もある。
- ・グループワーク中の板書が、他の参加者の頭部が視界を遮って見えなかった参加者もいたようだ。
- ・基調講演の冒頭、声が聞きづらかったが、運営側で音量を上げた後は問題なかった。
- ・定員を45名程度まで絞った方が受講環境は快適だったかもしれない。
- ・近年では珍しく募集段階で定員を超過し、60名まで参加者数を調整した。受講環境を優

先しさらに参加者数を絞る考えもあるが、一人でも多くの参加者に研修会受講の機会を与えた方が良い。

②講師講評をもとに

配付資料2をもとに反省点について討議した。下記のような意見があった。

- ・今後の提案事項の記述内容から、担当講師自身も不完全燃焼だった部分を感じられた。
- ・60名近い参加者の研修はあまり経験がなつたようである。
- ・結果的には、研修会開催費に残額がでたので、担当講師をもう一名追加で有償依頼することも可能だった。
- ・担当講師の人柄も相まって、参加者の間には一体感が醸成された。
- ・クレーム対応時の服装や態度にも触れてほしかった。
- ・資料1、2からは、総合的に成功した研修会だったといえる。担当講師を含めた研修会委託会社との事前のやり取りが最も反省すべき点である。

2. その他

- ・配付資料3をもとに、研修委員会関連予算について事務局が中間報告を行い、承認された。
- ・来年度より次期委員のMLは、私大図協のサーバで運用予定との説明が事務局よりあった。現委員のMLは時機を見て解除する。

以上